

辺野古土砂北九州

発行…2025年7月号・No.62(総会議案号)

◯ 《辺野古土砂ストップ北九州》

第11回定期総会 ご案内

●2025年7月27日(日)14時～

●北九州生涯学習総合センター21 学習室

《1部》DVD上映・40分

「水平へ漕ぎだす 辺野古海上行動と裁判闘争」

《2部》総会

辺野古での
たたかいはの様子に
胸が熱くなります

※総会に参加できない方は、議決書(葉書)の送付を
お願いします。

《目次》

【北九州空港】築城基地の戦闘機がタッチ&ゴーの訓練(藤堂・八記)…… 2ページ

【総会】辺野古土砂ストップ北九州「第11回定期総会議案書」…… 3ページ

【沖西ネット】「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク」東京行動(宗吉)・ 11ページ

【連続エッセイ】毒まんじゅうはいらない(浦島悦子)…… 15ページ

写真…藤堂均・宗吉信・八記久美子・他(敬称略)



発行 「辺野古土砂ストップ北九州」

北九州空港は築城基地の第2滑走路!?

北九州空港で築城基地の戦闘機が タッチ&ゴアの訓練



戦闘機は滑走路に車輪が触れた瞬間、離陸態勢に入りました。タッチアンドゴアの訓練は今後も行われることになっています。

6月27日(金)14時半頃、築城基地所属の戦闘機が2機、北九州空港でタッチ&ゴアの軍事訓練を行いました。

2023年、武内市長は市民にも市議会にも知らせず、北九州空港を、軍事訓練を行なう(有事の際には軍事基地として使う)「特定利用空港」にすることを認めてしまいました。

7月9日からは、千葉から佐賀駐屯地へオスプレイ17機が順次移駐してきます。築城基地にはすでに米軍施設も完成し、現在、滑走路延長工事が2031年完成に向け行われています。

今後北九州空港では、自衛隊や米軍によるオスプレイも含めた様々な戦闘機の訓練が行われることとなります。(とうとう・やつき)



北九州空港の南北展望台には、マスコミや見物人など80人程が集まっていました。

「軍事空港・北九州」の成長日記

- ・2023年11月…国が武内市長に、北九州空港の特定利用空港指定について説明。市長は、市民にも市議会にも知らせずこれを承認。
- ・2023年12月02日…北九州空港滑走路延長事業着工式。
- ・2024年04月01日…正式に北九州空港が「特定利用空港」に。
- ・2024年10月26日…日米共同統合訓練「キーン・ソード25」で、P3C対潜哨戒機飛来。
- ・2024年10月28日…日米共同統合訓練「キーン・ソード25」で、UH-60J救難ヘリ飛来。
- ・2025年06月27日…築城基地所属の戦闘機2機が、タッチ&ゴアの訓練。

※今後、この日記をつけていきたいと思っています。

辺野古土砂ストップ北九州

第11回定期総会《議案》

《1》辺野古新基地建設をめぐるこの1年の情勢

2024年8月～2025年6月

【大浦湾側の工事】

沖縄防衛局(以下:防衛局)は2024年8月20日、鋼管くい(鋼管矢板)を打ち込み、A護岸の工事に着手しました。下旬には最も深く90mのくい打ちが必要な、B27地点でのボーリング調査も始めました。8月から12月までの5ヶ月間に打ち込まれた杭は30本余りで、11月13日には、辺野古側と大浦湾側の間にある辺野古崎の沿岸③-1地区への、土砂投入を始めました。

12月28日午後、トレミー船(砂撒船)が砂撒きをしました。設計変更申請を国土交通大臣が代執行で承認して以降初めてで、地盤改良工事を年内に着手したという「実績」を残すためだけに「御用納め」後にもかかわらず行ったのです。

2025年2月15日からは、砂杭を打ち込むサンドコンパクションパイル工法による、地盤改良工事が始まりました。砂杭は70mまで打ち込まれますが、大浦湾は軟弱地盤が海面下90mまで達しているため、到底届きません。

2025年3月末現在、ほぼ陸地化された辺野古側も含めて、土砂の投入量は約17.5%にすぎません。



しんぶん赤旗 2024年11月18日より

【土砂調達・搬送】

《奄美大島》 防衛局は設計変更当初、沖縄島南部の土砂を大量に調達するつもりでしたが、沖縄戦戦没者の遺骨が含まれる土砂が、米軍基地造りに使用される事への強い抵抗にあい、奄美大島から調達する準備を始めました。2024年8月中旬、防衛局は鹿児島県と奄美大島4市町村に対し、土砂調達のため特定外来種の調査に入ると通告し、調達業務を受注した業者に現地調査を行わせたのです。土砂全協では9月中旬、奄美大島の4市町村長宛てに、土砂搬出に反対の意思を表明することなどを求める要請書を提出しました。また、今年5月には土砂全協総会を奄美大島で開催、奄美大島からの土砂搬出

を許さないことを強くアピールしました。

4月10日には、土砂全協が防衛省に対し、「奄美大島から辺野古埋立のための石材・土砂を調達しないことを求める要請」をすると共に、昨年11月から取り組んだ60,621筆の反対署名の第一次提出を行いました。当会も、全国から寄せられた署名の集約をするなど、積極的に取り組んできました。なお、署名は引き続き9月末まで続けますので、ご協力をお願いします。

《安和・塩川》 2024年6月28日の死傷事故以来停止していた安和栈橋からの土砂搬送が、原因が究明されないまま8月22日に再開されました。とられた安全対策は、公道上で警備員らがネットフェンスを張り、市民らの通行を阻止するというもので、歩行者優先の道路交通法を無視したものでした。年を越した1月には安和栈橋出入口の車両乗入部の両側に、歩行者の往来を阻むかのように、90cm間隔のポールが県によって設置されました。

12月2日、安和栈橋の事故以来中止されていた本部塩川港からの石材搬送が、5ヶ月ぶりに再開され、12月17日にはベルトコンベアの使用も始めました。「原因の究明と今後の安全対策を講じるまでは設備使用を中止すること」という県からの許可条件に違反する再開です。

《宮城島》 2024年11月20日からは、うるま市・宮城島からの土砂調達が始まりました。唯一の生活道路を、道路の耐用基準の倍を超える台数のダンプカーが行き交い、道路の損壊や沈下が数十カ所確認されています。

当初、宮城島鉦山からの辺野古埋立て用土砂は、中城湾港から搬送されていました。本来港湾使用は自治体が管理すべきところ、国によって港湾整備中であるのいいことに、県の許可を得ず中城湾港を使用していたのです。県の港湾管理権を侵すものと、強い批判の声が上がっています。

今年3月からは、平安座島・宮城島間にある沖縄石油基地の民間栈橋からの搬送に変更しました。沖縄県からの「民間栈橋からの海上輸送が計画変更にあたるので、変更承認を得るように」という行政指導も、作業中止を求める行政指導にも応じず、防衛局は搬出を続けています。



「むかで歩き」で抗議する、宮城島のたまたかいの様子

【海砂】

大浦湾側の軟弱地盤の改良工事のためには、394万m³もの海砂が必要とされています。沖縄県内の年間海砂採取量の3倍～5倍もの量です。西日本の多くの県は海砂採取の全面禁止か総量規制を設けていますが、沖縄県には何の規制もありません。すでに国頭、大宜味両村の沿海部の国道護岸数カ所で、浸食による崩壊が起きていることが指摘されています。3種のウミガメが産卵に訪れる謝敷海岸(国頭村)の消滅の危機が、村議会で議論されています。この上、何の規制もなく基地新設のために大量の海砂を採取すれば、海中の自然環境に大きな影響を与える、海岸の地形が変わるなどの問題が沖縄沿岸海域全域に生じることになります。

【サンゴ】

防衛局は、記録的な暑さの影響でサンゴの白化現象が確認されたとして、サンゴの移植作業を、2024年8月中旬から中断しました。11月には海水温が下がったことや、白化が止まったとしてサンゴの移植を再開し、計画より5か月早く12月末までにサンゴの移植を完了しました。夏の高水温などでサンゴの数が減ったため、当初8万4千群体を移植する計画でしたが、実際に移植を行ったのはおよそ5万9千群体だということです。移植を予定していた群体のうち、2万5千群体が白化・死滅したということになります。生息していた大浦湾でさえ、高水温の影響がこれほど大きく出るので、移植先ではさらに過酷な環境であることが予想され、生存が危ぶまれます。



《2》この1年を振り返って

■活動日誌

- 08月07日(水)…会報No.54 発送作業 5名
- 08月11日(日)…「会費入金状況のお知らせ」確認作業 zoom 2名
- 08月24日(土)…第10回定期総会(生涯学習総合センター) 出席12名、議決書65名
- 08月28日(水)…第1回世話人会 7名
- 08月31日(土)・9月1日(日)…平和のための戦争展 世話人全員、会員多数参加
- 09月02日(月)…「特定利用空港・港湾」オンライン情報交換会 17名
- 09月04日(水)…会報No.55 発送作業 6名
- 09月16日(月)…臨時世話人会(特定利用空港・港湾その他)zoom 6名
- 09月21日(土)・22日(日)…「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク(準備会)」
呉集会 1名

09月22日(日)…「西浦昭英講演会」参加者26名(うち会員外7名)
09月25日(水)…第2回世話人会 6名
09月28日(土)…小倉駅街頭宣伝 10名
10月02日(水)…会報No.56 発送作業 6名
10月11日(金)…映画「戦雲」上映とお話(三上智恵さん)北方シネマ
約80名 当会からは9名参加
10月17日(木)…北九州市への「キーン・ソード25中止」要請行動 市内34団体
当会からは4名参加
10月21日(月)…九州防衛局への「キーン・ソード25中止」要請行動
当会からは3名参加
10月22日(火)…「キーン・ソード25と北九州空港の特定利用空港指定に抗議する街頭宣伝」小倉駅前 7団体13名
10月28日(月)…北九州空港での「キーン・ソード25」監視行動 3名
11月06日(水)…第3回世話人会 7名
11月13日(水)…会報No.57 発送作業 4名
11月16日(土)…土砂全協オンライン学習会 2名
11月22日(金)…小倉駅街頭宣伝 5名
11月30日(土)・12月1日(日)…「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク(準備会)」大分集会 6名
12月04日(水)…会報No.58 発送作業 6名、第4回世話人会 6名
12月21日(土)…小倉駅街頭宣伝 6名
01月08日(水)…会報No.59 発送作業 7名
01月29日(水)…第5回世話人会 4名
02月22日(土)・23日(日)…「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク」結成総会・集会 鹿児島 3名
02月26日(水)…第6回世話人会 5名
03月05日(水)…会報No.60 発送作業 8名
03月07日(金)…土砂全協オンライン学習会 4名
03月08日(土)…国際女性デー小倉集会 発言1名
03月21日(金)…「九州への長射程ミサイル配備撤回」九州防衛局要請行動 3名
03月22日(土)…小倉駅街頭宣伝 5名
03月26日(水)…「オスプレイ来るな！」芦屋基地前抗議行動 6名
04月02日(水)…会報No.61 発送作業 8名、第7回世話人会 6名
04月10日(木)…「土砂全協署名提出(60,621筆)と防衛省交渉」東京 1名
04月20日(日)…「平和といのちをみつめる福岡大集会」行橋市 世話人6名 会員多数
04月25日(日)…土砂全協オンライン学習会 3名
04月26日(土)…小倉駅街頭宣伝 5名

04月30日(水)…第8回世話人会 6名
05月01日(日)…メーデー参加 2名
05月03日(火)…憲法学習会 3名
05月07日(水)…会報No.62 発送作業 7名
05月24日(土)～25日(日)土砂全協第12回総会(鹿児島県奄美市) 1名
05月28日(水)…第9回世話人会 5名
06月6日(金)・7日(土)…「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク」東京行動
6日政府交渉、7日交流集会 1名
06月21日(土)…オスプレイ来るな！6.21佐賀駐屯地抗議集会 2名
06月25日(水)…第10回世話人会 5名
06月27日(金)…北九州空港での築城基地所属戦闘機のタッチ&ゴー訓練視察 2名
06月28日(土)…小倉駅街頭宣伝 7名

■この1年を振り返って <<太字は今年度の活動方針です>>

これまで以上に急速な、また強力な軍備増強が進む中、それに対抗すべく反対運動も活発にならざるを得ない一年でした。

<<土砂全協の仲間とともに、辺野古新基地建設ストップの運動をすすめよう>>

- ・「奄美大島から辺野古埋立のための石材・土砂を調達しないことを求める署名」については、情勢で報告をしています。
- ・5月に鹿児島県奄美市で開かれた土砂全協総会に世話人が参加しました。
- ・今年度も引き続き辺野古現地での闘いを支援するため、世話人が数回現地に出向き、新しく開設されたゲート前での抗議行動、宮城島での土砂積み出しや海上での抗議行動に参加。これらの行動を会報で報告しました。

<<他地域とともに「特定利用空港・港湾」の撤回運動を取り組もう>>

- ・「特定利用空港・港湾」オンライン情報交換会を開催し、メーリングリストで各地の動きの情報交換ができる体制をつくりました。

<<地域の軍事化に反対する各地の団体とつながり、学び、行動しよう>>

- ・2024年の「平和のための戦争展」に参加し、「戦争の準備はここまで…驚くべき九州各県と北九州の現状」というテーマでの展示を行いました。
- ・昨年10月～11月実施の日米共同統合演習「キーン・ソード25」が北九州空港(特定利用空港)でも行われることに対し、北九州空港を使わないことを含めた演習の中止を、北九州市や九州防衛局へ求めると共に、街頭宣伝や北九州空港での監視行動を行いました。
- ・「九州への長射程ミサイル配備撤回」九州防衛局要請行動に、世話人や会員が参加しました。
- ・今年2月に「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク」が結成され、5月時点で35団体が参加しています。昨年8月に那覇市、9月に呉市、11月に大分市での準備会を重

ね、世話人や会員も参加して来ました。6月の東京行動にも世話人が参加しました。

- ・大村基地(長崎県)で発着し、築城基地・芦屋基地で空中訓練を行った陸上自衛隊のオスプレイに対する芦屋基地前抗議行動を組織し、世話人や会員が参加しました。また、地元の団体とも協力して行動しました。
- ・「平和といのちをみつめる福岡大集会」(1,300人参加)では、北九州で進む軍事化について当会も報告するなど、世話人・会員多数が参加しました。

《毎月の小倉駅前宣伝を取り組もう》

- ・悪天候による中止もありましたが、ほぼ毎月取り組みました。最近、若者が数名署名やカンパをしたり、外国人(米国)から質問を受けたりということもありました。

《講演会・学習会・上映会(映画・DVD)を取り組もう》

- ・安和栈橋や塩川港での抗議行動の中心メンバーの一人となっている、西浦昭英さんの講演会に取り組み、26名が参加。会員外からも7名の参加がありました。
- ・北方シネマが取り組んだ「戦雲」上映会には、協賛団体という形で積極的に関わりました。

《情報提供の場である「会報」の定期発行を目指そう》

- ・昨年度は9回発行しました。世話人の体調や財政問題もあり、毎月の発行とはなっていない。

《各種の取り組みを通じて、会員を増やそう》

- ・昨年度総会時の個人会員数は215名でした。この一年間で加入者が7名ありましたが、退会者は9名で、現在は213名になっています。団体会員も2つ減って、現在18団体です。※2025年6月30日現在

《年度内の会費納入を働きかけよう》

- ・毎年「会費納入状況のお知らせ」と振込用紙を、会報(議案号)に同封して、会員全員に会費の納入を働きかけています。過年度分の会費未納者へは、12月と4月に「会費納入のお願い」の文書と振込用紙を、会報に同封しました。



2月に鹿児島で行われた「戦争止めよう！
沖縄・西日本ネットワーク」の結成は、その
後の運動に大きな変化をもたらした。

《3》決算報告・監査報告

第10期（2024年6月1日～2025年4月30日）決算書

並びに第11期（2025年5月1日～2026年4月30日）予算案

		第10期決算		第11期
	費目	金額（円）	主な内容	予算案
収入	団体会費	36,000	3,000円×12＝36,000円	54,000
	個人会費	174,000	1,000円×174＝174,000円	213,000
	カンパ	86,393	個人 35件 街宣 5,393円	87,000
	活動収入費	13,000	西浦昭英講演会参加費 500円×26名	100,000
	その他収入金	1,663	うみかじカンパ 利息 佐川急便返金	50
	前年度繰越金	200,280		194,539
	合計	511,336		648,589
支出	活動支出費	40,950	土砂全協年会費 10,000円 西浦昭英氏へのカンパ 7,000円 小倉駅前駐車料金 8回 5,200円	140,000
	会報発行費	244,002	佐川急便 8回 155,410円 印刷経費 19,244円 封筒代 22,660円	280,000
	会議費	280	世話人会8月冷房費	1,000
	事務費	2,826	収支伝票用紙代	7,000
	総会費	27,739	議案書郵送費 24,500円	30,000
	その他支出金	1,000	うみかじカンパ	0
	次年度繰越金	194,539		190,589
	合計	511,336		648,589

第10期決算について上記のとおり報告します。

第11期予算案については上記のとおりです。

2025年5月13日

財政担当 大野保徳



【会計監査報告】

第10期決算について

領収書(控)、振替受払通知票、入金伝票(領収書添付)、
出納帳、通帳を確認し、適切に処理されています。

2025年6月10日

会計監査 後藤 尚子



≪4≫新年度の活動方針

■新年度の方針

- ・土砂全協の仲間と力を合わせ、辺野古新基地建設ストップの運動をすすめよう。
- ・軍事化に反対する各地の団体とつながり、学び、行動しよう。
- ・毎月の小倉駅前宣伝を取り組もう。
- ・講演会・学習会・上映会(映画・DVD)を取り組もう。
- ・情報提供の場である「会報」の定期発行を目指そう。
- ・各種の取り組みを通じて、会員を増やそう。
- ・年度内の会費納入を働きかけよう(会計年度のメは4月30日です)。

≪5≫新役員体制

- 共同代表…小田恭司(年金者組合北九州市協議会・再)
- 共同代表…南川健一(部落解放同盟門司地区協議会・再)
- 共同代表…三輪幸子(新日本婦人の会福岡県本部・再) ※以上、あいうえお順
- 事務局長…八記久美子(個人会員・再)
- 事務局次長…藤堂 均(個人会員・再)
- 財政係…大野保徳(個人会員・再)
- 世話人…松本秀樹(個人会員・再・「辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会」担当)
宗吉信(個人会員・再・「戦争止めよう! 沖縄・西日本ネットワーク」担当)
- *
- 顧問…天久 泰(弁護士・個人会員・再)
- 会計監査…後藤尚子(個人会員・再)



市への要請行動・平和のための戦争展・街頭宣伝などなど、あつと言っ間一年でした。

「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク」東京行動報告

熱気あふれる政府交渉と東京集会

各地の期待を強く感じる 世話人 宗吉 信

〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰 政府交渉 〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰

■はじめに

6月6日、衆議院第一議員会館で行われた「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク(略称・以下:沖西ネット)」対政府交渉。多目的ホールを満席にする参加者200人！オンラインでも300人が注目しました。交渉や集会の様子はYouTube(「沖縄・西日本ネットワーク」で検索)他で知ることができるので、ここでは現場にいた感想を交えて主観的に報告します。

■呉羽真由美さん(京都)

最初に共同代表の一人、呉羽真由美さん(京都)が開会の挨拶。「巨額な軍拡が本当に国民を守るのか、米国との頻繁な軍事演習は日中平和友好条約に反する。政府は現在の自衛隊や米軍の動きが、沖縄や西日本の住民を戦争の最前線に置き、平和的生存権や基本的人権を侵害していることを自覚し、対応することを求める。」

■高井弘之さん(愛媛)



高井共同代表

政府交渉の口火を切ったのは、共同代表の高井さん(愛媛)の力強い発言。「政府は東アジアの厳しい安全保障環境を理由に軍備増強を進めているが、その環境は誰が作り出しているのか？米中の軍事対立の最前線は、太平洋のど真ん中ではなく、中国が防衛ラインとしている『第一列島線(九州南部から沖縄を経てベトナムに至る)』だ。中国は米国近海で軍事演習せず、日米が中国近海で演習して、東アジアの戦争危機を高めている。日本がこの軍事体制から脱すれば、米国単独では戦争を起こせない。政府に方向転換を要請する。」

■具志堅隆松さん(沖縄)



具志堅共同代表

続いて同じく共同代表の具志堅隆松さん(沖縄)「3月、ヘグセス米国防長官は中谷防衛大臣との会談で、自衛隊が戦争の最前線に立つと明言した。その会談を中谷大臣が『成功』と称したのは、米国に自衛隊員の命を売り渡すのに等しい。今の自衛隊は専守防衛ではなく、米国のために戦争する軍隊と化している。我々国民は政府の決定に従う存在でなく、

主権を持って我々が日本の進むべき道を決定する。」

■100人以上の政府職員が対応

事前に関係省庁を列記した質問書を送付して回答を求めてあり、今回の交渉はその回答に対する再質問という形で行われました。切実な思いのこもった多くの質問に、全く無味乾燥で中身の無い形式的な答えしかしない各省庁職員たち。恐らくエリートと呼ばれる官僚たちでしょうが、こういう心ない訳の分からない言い方で国民を煙に巻く能力こそ、政府から彼らに求められているものかもしれません。

*

質問項目は沖縄・西日本各地の課題を拾っているため多岐にわたり、一つの問題に絞って追及を深めることができず、次の課題に移らざるを得ません。消化不良の感じはありますが、それだけきちんと各地の課題を取り上げる交渉になっていました。この難しい進行を仕切った石垣島の藤井幸子さんの司会が見事でした。



たくさんの要請項目を、見事にさばいて進行する藤井さん

*



沖西ネットの要請書を、防衛省職員に手渡す呉羽共同代表

質問の課題が変わる毎に、関係する省庁の職員が入れ替わります。省庁は防衛省の他、外務省、経済産業省、国土交通省、環境省、農林水産省、内閣官房、内閣法制局、消防庁と多岐にわたります。同じ防衛省でも質問の内容によって関係部局が違うので入れ替わりがあります。こうして累計100人以上の政府職員の出席があったそうです。これだけ多くの職員が出て来るといことは、沖西ネットの存在が政府にとっても無視できないものになっているということでしょう。

*

沖西ネットは1年以上の準備期間を重ねて、この2月に、ようやく結成に漕ぎつきました。その長い準備期間から、重要な通過地点として位置付けていたのが、東京に乗り込んでの政府交渉と集会でした。国会議事堂正面は集会で行ったことがありましたが、裏側に議員会館がたくさん並んでいることも知らなかったし、もちろん行ったのは初めて。通行証がないと中に入れませんが、参加者分の通行証は、東京の団体が手に入れてくれました。場所柄たくさんの国会議員が参加して挨拶がありました。国会議員事務所を通しての場所の確保、関係省庁職員の出席要請、受付や案内等の業務。沖西ネットの構成組織でもない、地元東京の個人・団体の協力があって実現していることも実感しました。

赤坂プレスセンター他のフィールドワーク

■地下鉄の下にシェルター計画

7日午前中は、少人数への呼びかけで行われた、東京都心部にある米軍基地等のフィールドワーク。集合場所は地下鉄都営大江戸線「麻布十番駅」のホーム。案内は神奈川の本元茂夫さん。ここが集合場所というのは目的地に近いからと単純に考えていましたが、駅のホームで既にフィールドワークが始まりました。このホームは深さ32mあるので、もう少し深い所、地下40mに備蓄倉庫を備えた地下シェルターを造る計画が進んでいるとのこと。大江戸線は後発の路線だから、他の地下鉄路線より深い所を通っている。そのため、他の駅にもシェルターの計画があるそうです。

■東京のど真ん中に米軍基地…「統合軍司令部」もここに

地下鉄で一駅移動して六本木駅。地上に出ると東京ミッドタウン。学生時代をこの辺りで過ごしたという小学館の酒井かをりさんに案内が代わります。この地域は当時「防衛庁」の敷地だったとのこと。今のおしゃれな高層ビル群からは想像できません。

少し歩いて「政策研究大学院大学」「国立新美術館」を過ぎた辺り、立入禁止区域になります。少し回り込んで旧毛利邸だったという公園から、ヘリポートの鉄柵が見えました。ここにアメリカ大統領を始めとする要人たちが、横田や横須賀の米軍基地から直接乗り入れます。隣は日米合同委員会も開かれる「赤坂プレスセンター」。ヘリポートと合わせ、れっきとした米軍基地です。新たにできる「統合軍司令部」もここに計画されているそうで、基地返還を求めてきた地元の港区は、基地の恒久化につながると、区長・区議会議長連名で、防衛省に懸念を伝えています。

すぐ近くに六本木ヒルズもそびえている、東京のど真ん中にある米軍基地。騒音や事故の危険と隣合わせです。ちょうどこの原稿を書いている6月18日、イスラエルとイランの戦闘の影響で米軍の動きが活発になり、このヘリポートから頻繁にヘリが離着陸するようになっているという情報が入りました。

東京交流集会

■「資料が全く足りない」盛況ぶり

いよいよ午後の「市民交流集会」。日本教育会館の150人収容の会場に続々と人が集まり、とても収容しきれないので、机を前に詰めての開会になりました。消防法の関係で、はっきり書けませんが、50部余裕を見て用意



会場に入り切れないほどの参加者が

した資料が足りず、更に 50 部増刷したが、それでも足りなかったというから、参加者数はお察しいただきたい。更にオンラインで 300 人。すごい熱気でした。

■各地の切実な運動が繋がれば、大きな力に

司会は東京の総がかり行動実行委・菱山南帆子さん。会場の確保他、東京での準備・手配を中心になって担っていただいた方。開会のあいさつは共同代表の海北由希子さん(熊本)。3 年前に北九州でもお話しいただいた、ジャーナリストの吉田敏浩さんによる講演「日米で進む戦争体制」と進みます。



開会の挨拶をする海北共同代表

そのあと、大分の池田年宏さんから前日の政府交渉の報告。そして沖縄・西日本で進む軍拡の様子を 8 地域から報告。更に首都圏での防衛強化の動きが東京、神奈川から報告されました。

*

参加してみて強く感じたのは、危機感には沖縄・西日本だけでなく、東京も同様だということです。各地での切実な運動が繋がることで、大きな力になろうとしています。沖西ネットへは、5 月段階で 35 団体が参加していますが、もっと広がって北九州でも多くの団体が参加していただけることを願っています。そして、この危機感を、運動から遠い人たちとも共有して、更に声を上げる人たちを拓げていくことこそが一番の課題だと思います。(むねよしまこと)



いずれも政府交渉の写真。回答する職員が何度も入れ替わり、なおかつ 2 列に座るなど、交渉の規模の大きさが分かる。



毒まんじゅうはいらない

ヘリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター



私の住む二見以北地域（名護市東海岸、大浦湾沿岸地域）にまたぞろ毒まんじゅうがばら撒かれ始めた。

まんじゅうは「地域振興」というつややかな外皮に包まれ、中には「新基地受け入れ」という毒の餡子がたっぷり詰まっている。この毒は、食べてすぐ死ぬわけでも病気になるわけでもない。それどころかとても美味しく、また食べたくなる。「もっと、もっと」と食べ続けるうちに中毒になり、このまんじゅうなしではいられなくなるのが恐ろしいところだ。

またぞろ、というのは、この毒まんじゅうには既視感があるからだ。1997年、地域に突然持ち上がった米軍新基地建設計画に対し、私たち住民は「戦争に繋がる負の遺産を子や孫に残すことはできない」と、一貫して反対してきた。二見以北各区で反対決議を上げ、名護市民投票で反対の住民意思を示し、また「新基地を造らせないと公約した二見以北出身の稲嶺進市長を当選させた。

これに対し政府・防衛省（沖縄防衛局）は、民主主義も地方自治も踏みにじり、国策を強行するため住民を長年にわたって「アメとムチ」で翻弄してきた。地域の過疎化・高齢化に付け込んだひも付き「振興策」は住民に分断を持ち込み、助け合いな

がら暮らしてきた地域コミュニティを破壊し、多くの住民に精神的苦痛をもたらしている。それは若者たちの地域離れを引き起こし、過疎化は進む一方だ。

今回の毒まんじゅうの名は「二見以北コミュニティ基金」という。これまで政府・防衛省が行ってきた手口と同様だが、今回はより巧妙になっている。基地容認の現名護市政を抱き込み、防衛省が出す原資を名護市にプールし、市からの補助金という形を取っているのだ。毒を薄めよう、あるいはごまかそうという魂胆に、残念ながら、十区の区長で構成する「二見以北地域振興会」が取り込まれよう（積極的に加担する区長、また反対の区長もいて一枚岩ではないが）としている中、住民からは、振興会の強引なやり方に対する疑問と不信の声が高まってきた。

故翁長雄志知事の「県民を基地反対と賛成で争わせておいて、上で嗤っている者がいる」という言葉を思い出す。国策に抵抗する住民に対する権力者のやり口はいつも同様だ。分断に乗らず、まずは、この分断の元凶である防衛省・沖縄防衛局に対する二見以北住民の抗議の意思表示をしようと、住民有志で話し合いを進めている。（うらしまえつこ）

《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 7月27日(日)…《辺野古土砂ストップ北九州・第11回定期総会》
14時～ 生涯学習総合センター・21学習室
【1部】…DVD上映40分
「水平へ漕ぎだす 辺野古海上行動と裁判闘争」
【2部】…定期総会
 - 7月30日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
 - 8月06日(水)…《会報発送作業》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
 - 8月15日(金)～8月17日(日)…《平和のための戦争展》 黒崎コムシティ
 - 8月22日(金)…《小倉駅前街頭宣伝》16:00～
 - 8月27日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- ※7月の小倉駅前宣伝は、熱中症対策のため、毎年お休みにしています。

「辺野古土砂ストップ北九州」への入会は

年会費(個人1000円・団体3000円)です。

カンパ熱烈大歓迎!

【辺野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古土砂ストップ北九州」

【財政・入会・退会に関するお問い合わせは】

090-4482-0043 大野保徳(財政担当)まで。

※領収書は、現金で会費をいただいた方のみお送りし、振り込みの方にはお送りしていません。ご了承下さい。



《辺野古土砂ストップ北九州》

メールアドレス…kanpanerura888k@gmail.com

〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

2025年7月2日発行